

用語の補足説明

I C T (Information and Communication Technology)

コンピュータやインターネットなどの情報通信技術のことです。

インクルーシブ教育

人間の多様性の尊重等の強化、障がい者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組みであり、障がいのある者が教育制度一般から排除されないこと、自己の生活する地域において初等中等教育の機会が与えられること、個人に必要な「合理的配慮」が提供される等が必要とされています。

コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置している学校）は、保護者や地域が学校の様々な課題解決に参画し、それぞれの立場で主体的に子どもたちの成長を支えていくための仕組み。学校関係者と地域が情報や課題を共有したり、教育目標や目指すべき子ども像について協議を行うなど、学校・家庭・地域の連携・協働体制を構築するものです。

義務教育学校

一人の校長の下、一つの教職員組織が置かれ、義務教育 9 年間の学校教育目標を設定し、9 年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施する新しい種類の学校です。心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を基礎的なものから一貫して施すことが学校の目的とされています。

校務支援システム

教務系（成績管理、出欠管理、時数管理等）・保健系（健康診断票、保健室来室管理等）、学籍系（指導要録等）、学校事務系など統合した機能を有しているシステムを指し、成績処理等だけではなく、グループウェアの活用による情報共有も含め、広く「校務」と呼ばれる業務全般を実施するために必要となる機能を実装したシステムのことです。同システムの導入により、教職員の日常業務の効率化を図ることで、子どもたちと向き合う時間を増やし、いじめ防止や不登校の減少、学力向上に寄与し、子どもたちのより良い学習環境の提供に繋げ、学校教育の充実を図ります。また、教員の校務における業務負担を軽減できることから「働き方改革」に資することに加え、情報の一元管理及び共有ができます。